



PORT OF SAKATA

安協だより

No. 81号

発行日／
令和4年11月15日
発行／
酒田小型船舶安全協会
責任者／宗 雄 司
発行部数／600部

令和四年度会長挨拶



「揺るがぬ 基本姿勢」

酒田小型船舶安全協会

会長 宗 雄 司

第四十七回酒田小型船舶安全協会の定時総会が滞りなく終わりました。今年度の運営につきましても、会員皆さんからのご理解を心からお願いいたします。

酒田小安協の設備の充実を心から願い、指定管理者として十五年目を迎えています。港湾事務所様のご指導の下、私たち役員は、会員の皆さんからご協力を頂き安価で安全に安心して、楽しめる協会を目指します。現場では出入港届の提出、発航前機関点検、見張りの徹底やライフジャケット着用をお願いします。今年度も、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、役職員の研修は中止、就中、当協会の三大事業であるヒラメの稚魚の放流、海難救助訓練並びにPBS内の一斉清掃も中止にせざるを得ません。

した。そのため、事業の大半が、来年度に繰り延べになります。役員一同はそれを真摯に捉えて、酒田小安協がこれまで培ってきた基本を忘れずに、さらなる内部体制の充実とサービスの向上に努めたいと、誓っております。会員の皆様のご協力とご理解を心からお願いします。

さて、最近のTVニュースや新聞紙上で「マイクロプラスチック」いう言葉をよく見聞きします。プラごみのうち大きさが5ミリ以下のものを指すそうです。実は、こうした小さなプラごみの破片や粒が、世界中の海洋を汚しています。もともとは大きなプラスチック製品も、太陽の熱や紫外線、波力などによって細かく砕け散ることによってマイクロプラスチックになり、海中で長時間消える

ことなく漂います。

やがて、海流に乗って広がり、美しい南の島々の浜辺はもとより、驚くことには南極でも見つかる始末です。

プラごみは、魚類をはじめクジラやウミガメ、海鳥など海に暮らす様々な生き物を苦しめているのです。その問題を列記してみますと。

一、従来からの散乱ごみに関する課題と同じく、景観にも悪影響を与え、甚大なる環境汚染問題になる。

二、海洋生物に絡まったり、生物が摂取したりすることによる大きな弊害、加えて漁業や観光業へも影響する。

三、プラスチックに含有されている有害物質が海中に溶け出すと、マイクロプラスチックに付着して運ばれ、それをエサなどと勘違いした多くの魚類が食べることによって、最終、人類の健康に影響すると懸念されているのです。

私たちは、小さな団体ですが、プラごみをなくし「海の豊かさを守ろう」というWWFジャパンの活動を意識したいものです。

また、釣りを安全に楽しむための三つの基本、救命胴衣

の常時着用、適切な連絡手段の確保と海のものも118番を忘れないようお願いいたします。

今年9月、第2酒田PBSに、新マリントラベリフトが設置されました。試運転も上々で職員一同は、ご利用をお待ちしております。

現在、当協会からはラインを利用して、会員の皆さんにリアルタイムの情報サービスも提供しています。是非契約して、安心して釣りを楽しむようにしてください。

今年も会員の皆さんの安全と素晴らしい釣果を、心からご祈念申し上げ挨拶いたします。



第四十七回定時総会 原案のとおり承認される

第四十七回定時総会は、六月二十六日(日)当小安協二階会議室にて開催されました。

佐藤泉総務部長が開会宣言をし、出席理事10名、委任状221名の合計231名の出席となり総会は成立するとして、次に議長に指名された藤井正寿氏は、加藤栄(はやぶさV)と佐藤藤彌(遊達)の両名を、議事録署名委員に選任した後宗雄司会長に挨拶をお願いしました。

宗会長は「会長を、引き受けて、14年目に入りました。昨年は計画した事業の大半をやり残してしまいました。事故もなく一年間を過ごしたことは会員の皆様のご協力の賜と感謝を申し上げます。今年も総会は中止すべしのご意見が寄せられました。総会は会員の皆様から意見を伺う大切な場ですので、様々な方策を検討した結果、

昨年同様委任状方式での開催になりました。懇親会は止め小人数で時間も短縮して行います。今年度の事業内容は大幅に縮小となりますが、良い機会と捉えて職員の技能力と内部体制をより強化することで、役員の方々のお力添えを願いたいと思います。

私たちの一番の関心事は設備の充実です。特に第2酒田PBSの上下架装置の新設は半導体不足で遅れているのが気に掛かります。当協会では月一回理事会を開催し、役員の方々から知恵を出してもらい課題の解決を図っております。今年度も毎月開催とは行かないまでも、その都度開催して、引き続き合議で決めて行く方針に変わります。



は「ありません」と挨拶されました。続いて、議事案件に従って粛々と進行了しました。報告第一号令和三年度の事業報告及び報告第二号令和三年度収支決算報告並びに会計監査報告につきましてはそれぞれ賛成230、反対0の全会一致で、承認されました。

次に、議第一号令和四年度事業計画は賛成228、反対2、議第二号令和三年度収支予算については賛成229、反対1、賛成多数で承認されました。議第三号会則改正につきましては事務局から内容が詳しく

酒田小型船舶安全協会役員名簿

(令和3年4月1日～令和5年3月末)

役 職	氏 名	船 名	役 職	氏 名	船 名
顧問	加藤 栄	はやぶさV	顧問	佐藤 藤彌	(遊 達)
会 長	宗 雄司				
副 会 長	阿曾 勝彦	第二航友丸	副 会 長	足達 武男	遊 達
経 理 部 部 長	松田 泰男		経 理 部 副 部 長	齊藤 正尚	(遊 達)
総 務 部 部 長	佐藤 泉	海 泉 丸	総 務 部 副 部 長	齋藤 洋	Superior
総 務 部 副 部 長	佐藤 学	Blue shato			
係 船 部 部 長	早藤 豊	R E E F	係 船 部 副 部 長	市原 浩徳	流 石
係 船 部 副 部 長	中嶋 康文	T A U R U S	"	押切 隆	A S a l i
"	齋藤 祐二	C L I O N E	"	太田 文博	早 喜 丸
"	佐藤 光之	K O U	"	泉 大祐	さ つ き 丸
監 事	藤井 正寿	(はやぶさV)	監 事	齋藤 高夫	真 咲

説明され、賛成229、反対1、賛成多数で承認されました。そして、藤井議長は全ての審議の終了を告げました。続

いて、佐藤泉総務部長は午後五時半、第四十七回定時総会の閉会を宣言しました。

指定管理の心構え

山形県港湾事務所長

松田 茂

酒田小型船舶安全協会の皆様方には、設立以来、長年にわたり本県の沿岸域における小型船舶の海難防止や運航マナーの向上を通じて、秩序ある海洋レジャーの普及と発展に、ご尽力頂いていることに心より敬意を表します。

また、常日頃より第1及び第2酒田P.B.S.など港湾施設の清掃活動や漂着ゴミの収集等、様々な活動に取り組んで頂いておりますことに、厚くお礼申し上げます。

第1及び第2酒田P.B.S.は海洋レジャーの交流拠点として、プレジャーボートの秩序ある利用に資することを目的に設置され、平成18年4月から、施設の利便性や快適性の向上及び維持管理業務の合理化を図るため、指定管理者制度により管理・運営等を担って、頂いております。

貴協会からは、P.B.S.の公の施設としての性格を十分に理解を頂きながら、利用者にとって快適な環境づくりや、施設の利用促進に努められ、

適切な危機管理体制や公平性の確保を心掛けて頂いていると認識しております。

加えて、救命胴衣の着用やゴミの持ち帰りなどについても指導頂いておりますことに改めて感謝申し上げます。

さて、今年度は、老朽化が進んでいた、第2酒田P.B.S.の上下架装置を、皆様方より多大なるご協力を頂きまして無事に設置することができました。これからも施設整備に関する意見書の内容を踏まえ計画的に対応を検討してまいりますので、ご理解を下さるようお願い申し上げます。

今後とも、海域の最前線でご活躍される皆様方のお力をお借りしながら、酒田港の発展に努めてまいりますので、引き続きご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

れんごう山形と協定書を締結

当協会はれんごう山形ユニオン（以下「甲」という）と甲が、令和4年5月30日付け山形県労働委員会に申請した令和4年第1号酒田小型船舶安全協会あつ旋事件について本年9月30日（金）に山形労働委員会のあつ旋を受けて協定書を締結しました。

甲からの金銭請求は全て取り下げられ、当協会が終始否定してきた、パワハラ問題については、甲から引き続き協議を求められたら、話し合いを継続する。

今後より良い職場づくりを行う。以上が合意され、一応の解決を見たことを、報告します。

P.B.S.内の防犯対策について

酒田P.B.S.の水上、陸上を問わず係留の船から盗難事故があった場合、都度船長から盗難届を酒田警察署に、提出してもらっています。酒田小安協では酒田警察署と定期的な情報交換をし、夜間のパトロール強化もお願いしているところです。

また、酒田P.B.S.内で釣りをしてる人たちが何らかの用事で侵入をしている人たちに、職務質問や注意喚起することもお願いしており、最近事故もなく、その効果が明らかに出ています。

当管内の担当は本町交番になります。シーズン中は三日に一回、夜間のパトロールも精励して防犯や事故防止などを兼ねて、ご苦勞をおかけしています。お会いしたら感謝を申し上げます。

防犯カメラも作動しておりますが、残念ながら、夜間や悪天候のときに、明瞭に撮影できてない箇所があります。船長の皆さんにおかれましては、盗難防止のために、結索などを厳重にする。キャンペーン

に錠錠や船上に大事な物を置かないなど、防犯意識を高め対策にご協力ください。

駐車場の見直し

遊漁船の船長の皆さんには職員が作成したお客様駐車場の案内図を差し上げておりますので、ご利用ねがいます。

第1酒田P.B.S.のA、F面に係留している船長の駐車場は、船の近くに確保するよう配慮しておりますが、その船に乗る人たちの駐車場は安協ハウス右奥とトイレ脇にある大駐車場をご利用ください。

第2酒田P.B.S.では船長は係留場所の直前に駐車しますが、お互いに譲りあい、整列駐車につとめてください。

その船に乗る人たちの駐車場は北側の大駐車場を使用してもらい、くれぐれも当日に出港する、または下架したい他の船長の迷惑になることがないようにご注意ください。

特に、第2酒田P.B.S.上下架装置の直前の駐車は、遠慮ねがいます。また、上下架中は、車の走行にご注意ねがいます。皆さんの協力に心から感謝申し上げます。

なるほどコーナー

子曰く、君子は周して而して比せず、小人は比して而して周せず。先生がおっしゃいました。

庄内論語より

「すぐれた人物は、幅広くだれかれの差別なく公平に交わるものです。これに対して、愚かな人物は、かたよった狭いなかでしか、交流がなく、まわりの人と広く公平に交わることをしません」

各部からのお知らせ

係船部

今年の上架事業は十一月一日から三十日まで行います。今年度の酒田PBSの水上係留に係る抽選会は七月十七日に行われました。第1に4艇第2に3艇が決定しました。来年度も行います。日程はHPを検索願います。

今年九月、第2酒田PBSの上下架装置が老朽化のため新品と交換になりました。船舶の入れ替え、名義変更(含共有者)等各種変更手続きは、事前の相談をお待ちします。(施設利用規約確認場合によっては、承認できないこともあります。

職員が毎日、朝晩PBS内の見回りをし、係船に異常あれば船長に連絡をします。冬期間は船が揺れて、ロープなどに不具合が生じぬよう、ご注意ください。

経 理 部

第四十七回定時総会におきまして令和三年度決算書及び

令和四年度予算書は皆さんの協力により承認されました。当協会の貴重な財源となる

年会費は七月末まで納入することになっておりますが、十月末現在10名の会員が未納になっており、PBS利用料金未納者は、第1酒田PBSで3名、第2酒田PBSで6名合計9名です。

県からの委託管理料は、前受けたので既に受領済です。従って、当協会としては早急に県にPBS利用料金を納入しなければなりません。

未納者には、九月八日付け督促状を出しております。また、PBS利用料金未納者に、係船許可はしないことや年会費未納の場合、除名の可能性があるので大至急納入するよう願います。

総 務 部

船長の皆さん安協とのライン契約をお願いします。上下架装置の状況や緊急変更事項などお知らせします。また、要望がございましたら、事務所に

設置した「意見箱」に投稿をお願いしたいと思えます。



船長のみなさん、ご登録をお願いします

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第四十七回定時総会は委任状方式による役員10名での最小限の出席で開催されました。会員皆さんが楽しみにしていた懇親会も中止となり、ヒラメ稚魚放流をはじめ一斉清掃、救助訓練の三大事業も中止となりました。各方面から早め沈静化が望まれています。

諸事業が中止となったので内部体制の充実に勤めます。職員も上下架装置の取扱いの技術向上、PBS周辺の環境整備や事務所トイレ周りの整理整頓にも一所懸命であり、

会員の皆さんからの暖かい激励をお願い申し上げます。

PBS管内の見回りについては、職員が毎日行っているところですが、防犯カメラをチェックしますと深夜怪しい人影が写っている場合?あります。防犯上大事な物品は船上に放置せず、キャビンに施錠して保管願います。

会員の皆さん、楽しく釣りができるようルールとマナーを守り、より良い酒田小安協を目指しましょう。

無線運用関連

今年も、流木、ロープ、漁網などの漂流物が特に多く、その都度皆さんから小安協に情報を寄せてもらいました。心から感謝を申し上げます。チャンネルは、79と27564に設定します。本年度の会員は40名で運営中です。

携帯電話は釣果の情報交換をはじめ、無線の代用にはなりません。緊急時の重要度は無線に敵いません。引き続き取扱いとメンテナンスに注力願います。今年度も新会員を募集しています

通常通り日曜、祭日の午前

9時と午後2時には、飛鳥、弾崎、秋田北防波堤灯台の氣象状況を無線で一斉通知のサービスをしています。刻々と変わる氣象状況の把握にお役立てください。

また、職員の皆さんはハンデー無線機を駆使し、連携して業務のスピードアップを図りました。

安全対策関連

ここ数年、安全パトロールの船長の皆さんに聞きますと船舶の安全確保3箇条(発航前等の点検、見張りの徹底、救助支援者の確保)。更に、自己救命策3つの基本(救命胴衣の常時着用、連絡手段の確保、海のものも18番)。は、概ね守られている結果となっています。海上保安部と酒田市西消防署のご指導の賜と感謝を申し上げます。

今年も海難救助訓練は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止と言う結果になってしまい、残念でなりません。来年に期したいと思えます。また、台風が大型化しているようです。出港時は観点望気にご留意ください。

☆ 船長さんはじめ同乗者全員がライフジャケットを装着 ☆

子どもたちも全員がライフジャケットを装着し、安心・安全に楽しい時間を過ごします。
はじけんばかりの笑顔がまぶしいですね。

☆ 令和4年6月26日(日) 第47回定時総会 ☆

☆ 令和4年9月 第2酒田PBSに新しいマリートラベリフトを設置 ☆



念願であった新しいマリートラベリフトが搬送されました。役職員の試運転も上々で皆様のご利用をお待ちしております。

安全な海を 目指して

酒田会場保安部長
伊藤 智人

酒田小型船舶安全協会の皆様におかれましては、海洋レジャーの発展並びに小型船舶の安全のために、献身的な海難防止活動へのご尽力に対し敬意を表すと共に、平素より海上保安業務へのご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

本年4月に酒田に赴任して半年が過ぎました。風が強く冬場が厳しいというイメージが、先行してりましたが、初めて鳥海山を目のあたりにしたとき、その美しさと雄大さに、感動しました。海や山いづれをとっても美しい自然があり、海産物のみならず、さくらんぼ、メロン等の果物さらには日本酒等のおいしい食べ物や飲み物も沢山あり、大変満足しております。

さて、本年4月23日、北海道の知床で、観光船が浸水、沈没し、乗員乗客の多くが行方不明になる痛ましい事故が

ありました。現在も海上保安庁では行方不明者の捜索を実施しており、一日でも早く行方不明者の発見に繋がればと思っております。知床を含む北海道の一部地域について救助体制の課題も浮き彫りになりましたが、山形県内においては、当庁ヘリコプターで救助にあたる機動救難士の1時間出動圏内であり、また、酒田海上保安部所属の巡視船艇により24時間365日の救助体制を確立しております。

ここで、山形県内における昨年の船舶事故隻数を振り返りますと、全体では7隻であり、その内小型船舶について6隻・貨物船1隻となっております。本年の船舶事故の隻数は、9月末現在で、既に昨年を上回り8隻発生し、内小型船舶は6隻で昨年比同数となっております。注意が必要な状況となっております。

全国の過去5年間の船舶事故の傾向としては、小型船舶が約8割、内プレジャーボートが約5割を占め、事故種類別では、衝突と乗揚げが約3割、機関故障が約2割を占めているといった状況であります。今一度航行時の見張りを

徹底、発航前の機関や燃料等の点検、整備事業者等による定期的な整備等を励行してもらい、海難防止活動等に努めて頂きますようお願い申し上げます。

また、昨年11月、青森県内で発生した、海中転落事故において整備不良のため膨張式救命胴衣が、適正に膨張しなかったという事例が確認されておりありますので、次の四点について留意願います。

- 一、救命胴衣本体に傷がないこと
 - 二、充気装置に亀裂、割れの損傷がないこと
 - 三、充気装置のマガジンとポンベが未使用であること
 - 四、ベルトに傷がないこと
- 一つでも異常を認めた場合は、すぐに使用をやめて製造メーカー等による点検・整備を行い、正常な救命胴衣を、正しく着用して頂きますようお願い致します。
- 最後になりますが、今後皆様との緊密な連携と協力をお願い申し上げますと共に、酒田小型船舶安全協会の益々のご発展を祈念致します。

トピックス・ニュース!!

酒田海上保安部によれば、ハーバーラジオのコーナーに今年から酒田海上保安部 富岡忠幸次長、他職員の方々が出演されて、保安部関連ニュースをお知らせしております。

また、豊田洋土交通課長の指揮のもと、海難防止啓発や運航指導を民間の免許講習会を手始めに、子どもたちへの酒田灯台案内等多くの機会を利用して海上保安業務の啓蒙活動をしています。酒田海上保安部の皆さんのご活躍に、敬意を表したいと思えます。



宗 雄司 会長 3冊目の歴史小説

江戸時代中期の酒田を舞台にした「酒田湊の御用帳はしけ舟の抄」を4月出版した。2015年に発刊した「小鵜飼舟の抄」「無棚船の抄」に続くシリーズ3冊目で北前船で栄えた、港町酒田の歴史に思いをはせて欲しいと話す。

小説の執筆は退職後、70歳を迎えた頃に取り組みはじめ、古文書の「亀ヶ崎足軽目付御用帳」の事件から着想を得てオリジナルストーリーを練り上げた。「はしけ舟の抄」は前作出版以降に書きためた短編の「傘福がたり」「断ち切る絆」「秘剣踏返し」「不動院の怪」の4編を収録した。相次ぐ火災の捜査や、強盗団との対決と言った同心たちの活躍を描いたほか、廻船問屋の番頭と芸者の純愛など、人情物の要素を加えてテンポよくつづった。

新書版170頁1914円。インターネット通販サイト・アマゾンで購入できるほか、直接の発送注文にも応じる。

〈問い合わせは〉

宗 0234(22)0755

吉村美奈子山形県知事宛意見書提出

松田 茂山形県港湾事務所長に次の九項目を意見書として手交しております。

- 一、第1酒田P.B.SのA面陸上駐艇場の簡易コンクリート舗装について
- 二、第1酒田P.B.Sの修理バースの簡易コンクリート舗装について
- 三、第1酒田P.B.SのD面の浚渫(しゅんせつ)について
- 四、第1酒田P.B.Sの共同便所のシャッターなど修理改善について
- 五、第2酒田P.B.SのC面の浚渫(しゅんせつ)について
- 六、第2酒田P.B.Sのマリーニャリアの修繕又は新規購入について
- 七、第1・第2酒田P.B.Sへ高性能防犯カメラの設置について
- 八、緊急修理費の確保について
- 九、第1・第2酒田P.B.Sの老朽船などの取り扱いについて

尚、本年九月第2酒田P.B.Sのマリーントラベリフトとの新規交換が実現しました。

以上

ホットコーナー

- いつも笑顔で大漁を!?
- ★八時だヨ むかし集合 今閉店
 - ☆恋ごころ マスク外せば 花と散る
 - ★ウイルスも 上司の指示も 変異する
 - ☆巣ごもりで MからLへ 服反応
 - ★デジタル化 しますと紙で 通知する
- シルバー川柳より

新入会員紹介

No	氏名	船名
1	佐々木 悠志	蒼天丸
2	塩田 敏弘	ポテト丸
3	高橋 禎弥	第八寶旺丸
4	穴戸 正樹	Sea Frog
5	中村 巖	凜風丸
6	片桐 篤	長豊丸Ⅲ
7	高橋 光雄	Ashikona
8	大友水産株式会社 代表取締役 大友康弘	第八祐神丸
9	今野 徹	KAI
10	菅野 洋介	Sea Walk
11	川井 裕介	Sea Hawk
12	有限会社コマツ塗装代表取締役 小松務	AKAGI
13	志田 拓実	Pleasures
14	藤林 勇一	ゆきかぜ
15	有限会社RYUInternational 取締役 葛岡勉	MASQUEARADE/NKAGT
16	有限会社佐藤砂利販売 佐藤和希	希
17	伊藤 直志	凧
18	有限会社巖工務店 五十嵐悟	乱坊
19	渋谷 裕	23CUDDY
20	株式会社近岡企画 代表取締役 近岡修	コウシロウ丸
21	今井 博喜	航大丸

正会員 415名 賛助会員 56名 合計 471名
(令和4年10月31日現在)

新職員の紹介コーナー

佐藤幸雄氏

「ベテランの中のベテラン」
8月20日(土)から勤務していただきます。シーズン真盛中に退職者が出、困り果て急遽お手伝いを、お願いしたところ、心よくお引き受け頂きました。よろしく願います。



お知らせと注意

「ルールとマナーを守り、安全で楽しく！」

- ◇明石礁、大瀬礁内の釣りは違法です。お互いに注意しましょう。
- ◇P.B.Sの管内と設備は大事に使い、常に節電、節水を心がけるよう願います。
- ◇車は指定された駐車場に止め、他人に迷惑をかけないよう願います。
- ◇船検や免許の更新はお済みですか？ 今一度、ご確認を願います。
- ◇一にも二にも発航前点検、見張りとライフジャケットの着用を願います。
- ◇係船料や安協会費が未納の方は、速やかにお支払いを願います。
- ◇作業中の船長がおります。P.B.S内は、波をたてないよう最徐行願います。
- ◇船舶は右側通行です。赤と白灯台の陰から、急な飛び出しは止めましょう。
- ◇酒田港内ではハノット以下で、引き波をたてないよう航行願います。
- ◇宮海海水浴場の沖でさし網漁をしています。特に乙区に注意願います。

(掲示板参照)

令和4年度 事業報告

(平成4年4月1日～令和4年9月30日)

- 4月1日(金) 第1、第2酒田PBSの管理に関する年度協定書の締結
- 6日(水) 山形県港湾事務所長来訪 13:00～13:30
先方：松田茂 所長、高橋昌之 副所長、野間広太郎 主査、
工藤正信 副主幹、嶋田好文 港湾整備専門員
当方：宗、阿曾、松田、佐藤(泉)、早藤
- 19日(火) 令和4年度酒田市及び遊佐町合同沿岸警備協力会総会の案内
- 20日(水) 水産庁新潟漁業調整事務所来訪 14:00～15:00
用件：令和4年度クロマグロの漁獲について
先方：資源課長 永井 周
当方：佐藤(泉)
- 27日(水) 係船部会 18:30～20:00
早藤、齋藤(祐)、市原
- 5月9日(月) 三役会議 18:00～19:00
宗、阿曾、足達、松田、佐藤(泉)、早藤
- 9日(月) 遊漁船業に係る利用者の安全の確保の徹底について(庄総水 第81号)
- 18日(水) 港湾事務所との打合せ 10:00～11:00
用件：第2 PBS新マリンキャリアについて
先方：野間広太郎 主査、加賀智博 港政専門員
当方：早藤、齋藤(祐)
- 21日(土) 会計監査 於 安協2F 12:00～13:30
藤井、齋藤(高) 両監事 (宗、阿曾、足達、松田)
- 26日(木) 令和4年度第1回理事会 案件：第47回定時総会日程等について
- 6月18日(土) 労働委員会検討会 於 加藤法律事務所 10:00～11:30
加藤、宗、阿曾、足達
- 20日(月) 山形県港湾事務所表敬訪問 (宗)
〃 総会出欠席締め切り
- 26日(日) 安全祈願祭 於 安協2F 16:00～16:30
〃 第47回定時総会 於 安協2F 16:30～17:00
- 29日(水) 吉川労務士打合せ
用件：36協定修正について 於 安協1F 16:00～17:00
先方：吉川
当方：宗、佐藤(泉)
- 30日(木) 第1、第2酒田PBS水面係船公募開始

- 7月4日(月) 海上保安部津波情報伝達訓練実施に協力
- 14日(木) 水面係留公募締め切り
- 16日(土)～7月31日(日) 「夏季安全推進活動期間」
海の事故ゼロキャンペーン・・・第Ⅱ管区海上保安部
- 16日(土) 水面係留抽選日 於 安協2F 18:30～19:30
早藤、齋藤(祐)、市原、押切、泉(大)、佐藤(学)
- 24日(日) 三役会議 案件：令和4年度第2回理事会中止等について
宗、阿曾、足達、松田
- 29日(金) 職員賞与支給日
- 8月5日(金) 山形県プレジャーボート係留・保管実態合同調査の実地について
- 13日(土) お盆休み
- 23日(火) 指定管理公募説明会 14:00～15:00 於 海洋センター
先方：山形県土木整備部空港港湾課 港湾主査 岡本知久 他1名
当方：宗、阿曾、足達
- 〃 山形県港湾事務所訪問 15:00～16:30
用件：令和4年度第1、2酒田PBS施設の整備等についての意見書
先方：松田港湾事務所所長、高橋副所長 他3名
当方：宗、阿曾、足達
- 9月9日(金) 第2PBSマリーントラベリフト設置説明会 13:15～15:00 於 第2ハウス
先方：野間広太郎 主査、加賀智博 港政専門員、株式会社両羽 2名
当方：早藤、押切
- 12日(月)～14日(水) 第2PBSマリーントラベリフト組立 コンテナ、40f ラフター 作業員8名
- 15日(木) マリーントラベリフト取扱説明 於 第2PBS
先方：野間広太郎 主査、加賀智博 港政専門員、株式会社両羽 他
当方：佐藤(泉)、服部、佐藤(幸)
- 〃 山形県プレジャーボート係留・保管実態合同調査への報告
- 16日(金) 第2PBS マリーントラベリフト稼働
- 21日(水) 令和3年度分子備監査 9:00～14:30 於 第2ハウス
先方：山形県監査委員事務局監査課 遠藤康志 課長補佐、庄司平 主査
山形県土木整備部空港港湾課 岡本知久 港湾主査
山形県港湾事務所 野間広太郎 主査
当方：松田、佐藤(文)
- 30日(金) 地方労働委員会あっせん 13:30～18:00 山形県庁
先方：地方労働委員会 3名
連合山形ユニオン阿部酒田飽海支部長、中村篤、服部智
当方：加藤、宗、阿曾